

宮前消防署のあゆみ

昭和15年12月	神奈川県川崎消防署を設置し、併せて高津出張所を開設した。
昭和18年12月	神奈川県川崎消防署中原出張所の消防署昇格に伴い、中原消防署高津出張所と改称した。
昭和22年10月	消防団令の公布に伴い、高津消防団を設置した。
昭和23年3月	消防組織法の施行に伴い、官設消防が市移管となり、川崎市消防本部を設置した。
昭和34年8月	川崎市の機構改革により、消防本部を消防局と改称した。
昭和38年8月	中原消防署高津出張所を改築し、高津消防署に昇格した。
昭和40年9月	高津消防署向丘出張所を開設した。
昭和42年11月	高津消防署野川出張所を開設した。
昭和45年2月	高津消防署宮崎出張所を開設した。
	向丘出張所に大型救急車を配置した。
	5月 宮崎出張所に救急隊を配置した。
	8月 高津消防署菅生出張所を開設した。
	11月 向丘出張所に救急隊を配置した。
昭和47年4月	政令指定都市になり、区政を施行した（5区）。
昭和50年12月	救急隊の3部制を施行した。
昭和52年3月	向丘出張所を増築した。
昭和55年4月	高津消防署犬蔵出張所を開設した。
昭和57年7月	高津区から宮前区が分区された（7区）。
昭和59年7月	婦人消防隊委員会の発足により、第1期委員長に山田フサエが就任した。
	10月 宮前消防署新築工事を着工した。
昭和60年7月	宮前消防署を3課（庶務課、警防第1・2課）8係（庶務、機械、予防、保安、警備1・2、消防1・2）5出張所（向丘、野川、宮崎、犬蔵、菅生）で開設し、初代消防署長に田村義和が就任した。
	人員135人、消防車両13台、救急車2台
	向丘出張所の救急隊を宮前消防署へ配置替えした。
	宮前消防団を設置し、初代消防団長に田邊清が就任した。
	団員111人、消防車両6台（本団・宮前・向丘・野川分団）
	宮前消防研究会を発足し、初代会長に伊藤豊が就任した（会員53人）。
	8月 宮前防火協会を発足し、初代会長に井田順登が就任した（会員85人）。
	12月 野川分団南野川班の小型動力ポンプが更新された。
昭和61年1月	本署に西独製30m級はしご車が配置された。
	6月 第2期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に山田フサエが引き続き、就任した。
	10月 川崎富士見ライオンズクラブから予防広報車の寄贈を受けた。
昭和62年2月	川崎宮前ロータリークラブから移動式投光器の寄贈を受けた。
	4月 宮崎救急隊を野川出張所に配置替えし、野川救急隊とした。

			宮崎出張所の増改築工事完成、火災時等部隊出場時残留員廃止となり、訓令定員133人（2人減）とした。
			初代防火協会長の退任により、第2代会長に小島隆が就任した。
昭和63年	12月		救助工作車を配置し、消防車両等14台、訓令定員143人とした。
	3月		自治体消防40周年記念に伴い、職員の意見発表会、特別消防協力者等（消防協力団体3団体、防火管理等協力者3人、婦人消防隊協力者2人）の表彰式を実施した。
			宮前消防団に日本消防協会から竿頭綬が授与された。
	4月		初代消防署長の退職に伴い、第2代消防署長に川邊直行が就任した。
	6月		第3期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に小森赫子が就任した。
	11月		宮前区小台1丁目、安藤直氏から宮前救急車の寄贈を受けた。
	12月		犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）、野川出張所の救急自動車（2B型）が更新配置された。
平成元年	4月		消防署所の適正配置と消防施設の整備計画により、野川出張所を宮前区に移転・改築した。
			消防署の機構改革により、副署長が配置され、3課（予防課、警防第1・2課）8係（庶務、予防、保安、救急、警備1・2）となった。
	5月		宮前区野川の建設現場（野川健康センター）の土砂崩れにより、死者5人、負傷者2人が生じた。
平成2年	2月		野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	3月		本署にポンプ積載車が配置、宮前分団神木班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
			宮前分団土橋班器具置場が改築された。
	4月		第2代消防署長の退職に伴い、第3代消防署長に山田秀久が就任した。
			幼年消防クラブが初山幼稚園及びゆりかご幼稚園の2園で発足した。
	6月		第4期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に本橋浦子が就任した。
			川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に本橋浦子が就任した。
	12月		宮前分団土橋班の消防ポンプ専用積載車が更新配置された。
平成3年	1月		向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月		本署に水槽（2t）付消防ポンプ自動車が配置された。
	6月		宮前救急隊及び野川救急隊に自動車電話を新配置し、運用を開始した。
			第1期少年消防クラブが30人で発足した。運営委員長に三宅尤夫が就任した。
	10月		向丘出張所改築のため犬蔵出張所へ一時移転した。
			宮前分団土橋班の小型動力ポンプが更新配置された。
	11月		宮前分団有馬班の名称が住居表示の変更に伴い、馬絹班と変更した。
平成4年	4月		第3代消防署長の異動に伴い、第4代消防署長に三木康敬が就任した。

	6月	第5期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に与田好子が就任した。
	9月	週休二日制の試行に伴い、救急隊が3部制から2部制になり、訓令定員を155人とした。
	11月	本署の広報車が更新配置された。
	12月	向丘出張所の改築工事が完了し、業務を開始した。 野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成	5年	3月 週休二日制が導入され、訓令定員を156人とした。
	4月	第4代消防署長の退職に伴い、第5代消防署長に窪田正彦が就任した。
	5月	初代消防団長の退団に伴い、第2代消防団長に井田耕夫が就任した。
	12月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成	6年	4月 消防情報管理システムを導入し、運用を開始した。
	5月	防火推進モデル地区として、大塚町内会を指定した。
	6月	第6期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に甲田悦子が就任した。
	9月	本署の査察車（Ⅱ型）、宮崎出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
平成	7年	2月 野川出張所に予備はしご車が配置換えされた。
	3月	救急救命士の配置に伴い、本署に高規格救急車が新配置された。
	4月	第5代消防署長の退職に伴い、第6代消防署長に小林一也が就任した。
	7月	宮前消防団発足10周年記念消防操法大会を実施した。 向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	10月	宮前消防10周年記念誌を発刊した。
	11月	救急救命士の配置に伴い、野川出張所に高規格救急自動車が配置された。
平成	8年	1月 本署の査察車（Ⅰ型）が更新配置された。
	3月	本団、向丘分団蔵敷班、宮前分団馬絹班の小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	条例改正により、宮前消防団員の定員を125人（女性含む）とした。 第6代消防署長の異動に伴い、第7代消防署長に渡部清が就任した。
	6月	第7期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が就任した。
平成	9年	2月 犬蔵出張所の水槽（5t）付消防ポンプ車が更新配置された。
	3月	川崎富士見ライオンズクラブから消防用調査連絡車の寄贈を受けた。 野川分団の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
	4月	第7代消防署長の退職に伴い、第8代消防署長に岩井肇が就任した。 防火推進モデル地区として馬絹小台町内会を指定した。
	6月	潮見台みどり幼稚園が3園目の幼年消防クラブとして結成された。

平成10年	10月	本署の広報車(Ⅲ型)が更新配置された。
	2月	本署の消防ポンプ自動車(CD-I型)が更新配置された。 向丘分団蔵敷班の対震用小型動力ポンプが更新された。 宮前消防ボランティア委員会が発足し、初代委員長に猿橋脩恵が就任した。 宮前消防ボランティア委員会発足に伴い、(株)タマショウ社長 高原司氏から、ヘルメット300個の寄贈を受けた。
	6月	第8期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に菅井保子が引き続き就任した。
	7月	宮前防火協会が消防庁長官表彰を受賞した。
	10月	救助資器材として、ルーカス製ユニツール、救助用エアーマットが新配置された。
平成11年	4月	消防署の機構改革により、3課(予防課、警防第1・2課)、9係(庶務、予防、指導、警備1・2、消防1・2、救急1・2)となった。
	7月	消火機材として、インパルス消火システムが配置された。
	9月	宮前消防ボランティア委員会は、宮前区を5ブロックに区分し、各ブロックにリーダー1人、サブリーダー2人を選出し、配置した。
平成12年	4月	第8代消防署長の退職に伴い、第9代消防署長に千頭和雄一が就任した。
	6月	第9期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に綿藤子が就任した。
	9月	宮前区の人口が市内7区で、初めて20万人を超えた。
	10月	宮前分団馬絹班、野川分団南野川班に対震用小型動力ポンプが配置された。
	11月	第2代消防団長の退団に伴い、第3代消防団長に篠田茂が就任した。
平成13年	2月	本署の高規格救急自動車が更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の消防ポンプ自動車(CD-I型)が更新配置された。 平成12年度原子力防災資機材等緊急整備事業に基づき、原子力防災資機材等が配置された。
	4月	第9代消防署長の異動に伴い、第10代消防署長に菅原満が就任した。
	6月	少年消防クラブ初代運営委員長の辞任に伴い、第2代運営委員長に吉井勇が就任した。
	12月	野川出張所に配置されていた非常用はしご車を廃車した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
平成14年	2月	野川出張所及び向丘出張所の消防ポンプ自動車(CD-I型)が更新配置された。
	4月	第2代防火協会長の辞任に伴い、第3代会長に秋山義隆が就任した。 第10代消防署長の異動に伴い、第11代消防署長に小林道正が就任した。
	6月	第10期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に宗岡純子が就任した。
平成15年	3月	本署の救助工作車が更新配置された(Ⅱ型→Ⅲ型)。

	4月	第11代消防署長の退職に伴い、第12代消防署長に原光男が就任した。 消防署の機構改革により、副署長と予防課長が兼務となり、警防統括主幹が配置されると共に、3課（予防課、警防第1・2課）8係（庶務、予防、警防1・2、調査1・2、救急1・2）1主査（危険物担当）とされた。
平成16年	1月	宮崎出張所に高規格救急自動車配置された。
	4月	第12代消防署長の異動に伴い、第13代消防署長に中島清一が就任した。
	6月	本署の広報車が更新配置された。 宮前防火協会役員改選により、第4代会長に黒沢一之が就任した。 第11期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	11月	第3代消防団長の退団に伴い、第4代消防団長に石川富美雄が就任した。
平成17年	3月	菅生出張所の救急隊発隊と併せて、庁舎の増改築工事が完成し、高規格救急自動車配置された。
	4月	第13代消防署長の退職に伴い、第14代消防署長に江口昭男が就任した。 本署の40m級はしご車が更新配置された。
	5月	初代消防研究会長の辞任に伴い、第2代会長に猿橋脩恵が就任した。 初代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第2代委員長に中山悦義が就任した。
	7月	宮前消防団発足20周年記念消防操法大会を実施した。 宮前消防関係団体20周年記念表彰式において、川崎市消防局長から宮前消防関係3団体（宮前消防団、宮前防火協会、宮前消防研究会）に表彰状が授与された。
	11月	宮前消防署20周年記念消防フェアを川崎市消防総合訓練場で開催した。 本署のポンプ積載車が更新配置された。 向丘分団神木班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
平成18年	6月	第12期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。 川崎市婦人消防隊育成検討委員会委員長に、芒崎八重子が就任した。
	8月	野川出張所の防災資機材運搬車が更新配置された。
	9月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	10月	救急救命士による薬剤投与の運用を開始した。
平成19年	1月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。
	2月	高度特別救助隊の運用開始に伴う人事異動により、訓令定員を172人とした。
	4月	第14代消防署長の退職に伴い、第15代消防署長に内田謙一が就任した。

		宮前消防署に高度救助隊が発足し、運用を開始した。
平成20年	6月	宮前防火協会役員改選により、第5代会長に工藤正興が就任した。
	7月	市内一斉でPA連携の運用を開始した。
	1月	区内関係団体（宮前区役所、宮前警察署、宮前郵便局、宮前生活環境事業所）の協力を得て、宮前区救命ネットワークを立ち上げ、4月1日から運用開始することとなった。
	4月	本署及び野川出張所の高規格救急自動車と、宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
		指揮情報隊の運用に伴う人事異動により、訓令定員を180人とした。
		新中原消防署の竣工に伴い、野川出張所の防災資機材運搬車が新中原消防署に配置換えとなった。
		菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）は、車両更新計画に基づき予備車運用とされたことから、小田中出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が配置換えとなった。
	6月	第13期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。
	7月	救急車の適正利用推進事業として、サポート救急の運用を開始した。
	9月	本署の広報車（軽ワゴン）が更新配置された。
平成21年	12月	野川分団野川班、南野川班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	3月	本署の指揮車（普通ワゴン）が更新配置された。
	4月	向丘出張所の残留員の廃止により、訓令定員177人となった。
		第15代消防署長の異動に伴い、第16代消防署長に南部浩一が就任した。
		第4代消防団長の退団に伴い、第5代消防団長に永井輝政が就任した。
	6月	少年消防クラブ改選に伴い、第3代運営委員長に谷島義雄が就任した。
	9月	本署の査察車Ⅱ（軽ワゴン）が更新配置された。
平成22年	11月	宮前分団馬絹班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	3月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）及び宮崎出張所の高規格救急車が更新配置された。
		平成21年12月3日の宮前地区局所的豪雨災害を教訓として、宮前消防署、宮前区役所、宮前道路公園センター、宮前警察署から構成する宮前区災害対策連絡協議会が設置された。
	4月	第16代消防署長の異動に伴い、第17代消防署長に佐藤文隆が就任した。
		本署に特殊災害対応自動車が配置された（臨港消防署から配置換え）。
		本署に大型除染システム搭載車が配置された（総務省消防庁から貸与）。
	6月	第14期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が引き続き就任した。
	11月	日本APEC開催に伴う特別警防体制を実施した（救急隊増隊等）。

平成23年	4月	向丘出張所に市内25隊目の救急隊が配置され、向丘救急隊の運用に伴い、訓令定数を187人とした。
	8月	向丘分団蔵敷班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	9月	菅生ヶ丘において、焼損面積が3,000㎡を超える倉庫火災が発生した。
11月		向丘出張所の高規格救急車が更新配置された。
平成24年	3月	菅生出張所の高規格救急車が更新配置された。
	4月	第17代消防署長の異動に伴い、第18代消防署長に庄司茂が就任した。 消防団員用MCA無線機及びトランシーバーが配置された（消防団安全対策設備整備事業）。 第5代消防団長の退団に伴い、第6代消防団長に吉田義一が就任した。
	6月	第15期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が就任した。
	7月	宮前防火協会役員改選により、第6代会長に杉田進が就任した。
	8月	ヘリコプターテレビ簡易受信装置が配置され、運用開始した。
10月		菅生出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
平成25年	2月	本団、宮前分団土橋班、向丘分団神木班、野川分団野川班の対震用小型動力ポンプが更新配置された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	犬蔵出張所の水槽付（4t）ポンプ車が更新配置された。
	4月	第18代消防署長の退職に伴い、第19代消防署長に並木努が就任した。
	5月	警防査察用オートバイが3台更新配置された。 第2代消防ボランティア委員長の辞任に伴い、第3代委員長に砂川徹夫が就任した。
11月		新市長登庁に伴い、多摩消防署の災害対応指令車（多摩指揮2）が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として配置された。
12月		宮前分団馬絹班、向丘分団蔵敷班、野川分団南野川班の対震用小型動力ポンプが更新配置された。
平成26年	2月	野川出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 犬蔵出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。 本署の高規格救急自動車が更新配置された。 有馬白百合幼稚園より、AEDレサシアン（成人）2体及びAEDトレーナー2基が寄贈された。 警防査察用オートバイが8台更新配置された。
	3月	本署の水槽（2t）付消防ポンプ自動車が更新配置された。 宮前区内に在住のバイク愛好家らで構成されるペガサス宮前と東日本大震災が発生した3月11日に災害時連携協約を締結した。
	6月	第16期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に芒崎八重子が引き続き就任した。

	9月	警防査察用オートバイが5台更新配置された。
	11月	区内避難所（指定された小中学校）に消火ホースキットの配置を開始した（3年計画で初回は鷺沼小学校に配置）。
平成27年	3月	宮前消防団発足30周年式典を開催した。 向丘出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	4月	菅生出張所の配置人員の変更により訓令定数を184人とした。 第19代消防署長の異動に伴い、第20代消防署長に原悟志が就任した。 第6代消防団長の退団に伴い、第7代消防団長に秋山明が就任した。 野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。 本署のはしご車（30m級）が更新配置された。
	6月	宮前防火協会改選により、第7代会長石田周二が就任した。 警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	7月	本署の広報車が更新配置された。
平成28年	3月	菅生出張所改築工事が終わり、運用を開始した。
	4月	第20代消防署長の異動に伴い、第21代消防署長に金子智哉が就任した。 本署の特殊災害対応自動車及び高度救助用資機材の更新配置等に伴い、宮前高度救助隊を宮前特別高度救助隊として、運用を開始した。
	6月	少年消防クラブ改選に伴い、第4代運営委員長に篠崎英雄が就任した。
	7月	第17期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に丸山量子が就任した。 野川出張所の大型除染システム搭載車が犬蔵出張所に配置換えとなった。 本署の広報車が更新配置された。
	11月	宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	12月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
平成29年	3月	消防団員用MCA無線機6台が追加配置された。
	4月	宮前ジュニアハイスクール消防隊育成指導が本格運用することとなった。
	5月	宮前消防研究会改選により、第3代会長檜垣隆三が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第8代会長渡邊浩志が就任した。
	7月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。
	12月	本署の救助工作車が更新配置された。
平成30年	1月	向丘出張所、菅生出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	4月	第21代消防署長の退職に伴い、第22代消防署長に砥石勝美が就任した。 第7代消防団長の退団に伴い、第8代消防団長に杉田正文が就任した。
	7月	第18期宮前地区婦人消防隊委員会委員長に岡本朋子が就任した。
	11月	警防査察用オートバイが1台更新配置された。

平成31年	2月	宮崎出張所の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
令和元年	5月	少年消防クラブ改選に伴い、第5代委員長に野村美千代が就任した。
	6月	宮前防火協会改選により、第9代会長石川閣が就任した。
令和2年	2月	警防部警防課の警防連絡車が宮前消防署本署に配置換えになり、宮前指揮2として更新配置された。
令和2年	3月	宮前地区婦人消防隊委員会が解散した。
	9月	本署の査察車（スバル）が更新配置された。
令和3年	11月	本署の高規格救急自動車が更新配置された。
		向丘分団神木班の小型動力ポンプが更新配置された。
	2月	本署のポンプ積載車が更新配置された。
令和4年	4月	第22代消防署長の異動に伴い、第23代消防署長に杉山哲男が就任した。
	12月	野川出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	1月	本署の指揮車が更新配置された。
	3月	宮前分団土橋班の小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
	4月	消防署の機構改革により、3課（予防課、警防第1・2課）、10係（庶務、消防団・防災支援、予防、危険物・査察、警防1・2、調査1・2、救急1・2）となった。
令和5年	10月	宮崎出張所改築のため犬蔵出張所へ移転し、業務を開始した。
	1月	本署の消防ポンプ自動車（CD-I型）が更新配置された。
	2月	本署の査察車（スズキ）が更新配置された。
	3月	宮崎出張所の高規格救急自動車が更新配置された。
	4月	第23代消防署長の異動に伴い、第24代消防署長に佐川勉が就任した。
		第8代消防団長の退団に伴い、第9代消防団長に持田弘二が就任した。
	5月	宮前消防研究会改選により、第4代会長に石田仁彦が就任した。